

対ロ制裁、日本苦慮 米は同調働きかけ ウクライナ問題

2014年3月8日 00時23分

ロシアがウクライナの主権を侵して軍事圧力をかけているとして、米国と欧州連合（EU）が制裁の発動で足並みをそろえた。米国のオバマ大統領は7日、安倍晋三首相と電話し、制裁への協力を日本にも働きかけた。だが、ロシアとの関係も重視する日本は、制裁への対応を決めていない。

オバマ氏は6日午後（日本時間7日未明）、「（制裁は）危機が解決するまで続く」と宣言し、ロシアのプーチン大統領と電話で協議した。資産凍結やビザ発給の制限を含む米国の制裁について説明し、ウクライナ新政権との直接対話などを促した。ロシア軍とみられる武装勢力が展開するクリミア半島への国際監視団の受け入れも求めた。

EUも6日の臨時首脳会議で米国に同調した。まずビザなし渡航や経済連携の交渉を中断。国際的な「連絡調整グループ」を設けて対話を求め、そこで成果が出なければ、資産凍結や渡航禁止といった制裁に乗り出す段取りを決めた。